



▲大会に出場を決めた14人の空手家たち

心・技・体を一突きに込めて

日本空手松涛連盟全国選手権大会に出場

7月13日、正進館空手道場所属の14人の選手が市役所を訪れ、7月18・19日に国立代々木競技場（東京都渋谷区）で開催された日本空手松涛連盟全国選手権大会に出場を決めたことを報告しました。

この大会には、全国から参加した1,500人の中から各県の予選を勝ち上がった選手が出場。14人を代表して、中学3年男子の部に出場した園田凜太郎くん（伊田中学校3年）は「最後まで試合を諦めず、悔いのないよう試合に臨みたい」と試合への意気込みを力強く話しました。

結果は、個人・型の部で宇都宮大珠くん（伊田小学校6年）が優勝。そのほか多数の選手が入賞するなど健闘しました。

梅雨空の下、心を込めたおもてなし

田川地区三高校合同茶会

7月19日、西田川高等学校、東鷹高等学校、田川高等学校の茶道部が高羽会館で合同茶会を開き、約200人の来館者が振る舞われたお茶などを味わいました。

毎年夏の恒例行事となっているこの茶会ですが、今回は一部趣向を変えて、西田川高校茶道部がお茶ではなく点心を提供。部員たちの美しい所作によるおもてなしを受けた来館者からは「学業と並行しながらも、しっかり作法を覚えていて素晴らしい」などの声が上がっていました。

西田川高校茶道部部長の矢持遥菜さん（2年）は「点心の提供は初めてで、期待と不安がありました。最初は緊張しましたが、稽古の成果は発揮できました」と話しました。



▲涼しげな浴衣姿でお茶を点てる東鷹高校茶道部員

シリーズ

田川市立病院だより

●かわいい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック

「病院ボランティア」～みなさんの参加を待っています～



▲病院ボランティアさん活躍中！

病院ボランティアは、外来や病棟での患者さんの手助けのほか、院内での演奏会、写真展示の実施など多方面で活躍しています。市立病院では、今後も多くの方に病院ボランティアに参加してもらい、そのことを通じて、充実・活躍の場をさらに広げてもらいたいと考えています。

「病院ボランティアに興味はあるけど、医療に関して聞かれたらどうしよう」、「専門用語などあって難しそう」という印象を持ってしまうかもしれませんが、ボランティアとして4年間、受診手続きの介助や外来案内を行っている溝口こずえさんは「参加するだけで自分の

勉強にもなり、社会貢献もできます。私は、あいさつなど自分にできることから始めました。医療に関することや専門用語でわからないことがあれば、職員のみなさんがサポートしてくれるので安心です」と実体験を話します。溝口さんのいつも明るく元気なあいさつは職員も見習うところが多く、病院全体の接遇向上につながっています。

ボランティアは自分のライフスタイルに合わせ、平日に限らず土曜日でも行うことができます。また、内容は希望に沿って決めています。経験がなくても、学生でも大歓迎です。まずは気軽に問い合わせください。

病院ボランティア募集！

●問い合わせ 田川市立病院（☎44-2100）